

在学生の声



千葉県
出身

鴨川シーワールドのトド

海洋生物資源学科 2年 (女子)
千葉県立千葉高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

海の生き物の生態について学びたいと思ったからです。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

生き物好きな人が多いですが、その分好きな生き物も人それぞれなので、友人と会話しているだけでもたくさん知識を吸収することができる場所です。

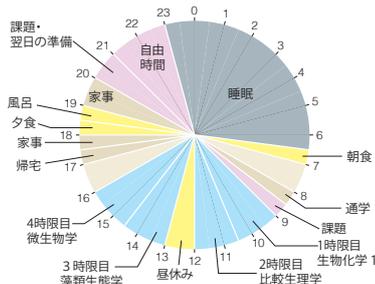
◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

生物の生態、保全等について深く学ぶことができます。先生方も、専門分野の解説になると愛がすごいです。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

去年はコロナウイルスの影響で一度しかできませんでしたが、専門家である教授や院生に豆知識などを教わりながらできるところが楽しいです。

Time Schedule



神奈川県
出身

小笠原で一緒に泳いだミナミハンドウイルカ

海洋生物資源学科 4年 (男子)
神奈川県立平塚江南高等学校卒業

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

同じものが好きな人たちが集まっているので、学科全体の仲がよく、釣りに行ったり水族館に行く友達ができることです。アクティブな人が多いので、長期休暇には友達と伊豆諸島や小笠原諸島などの離島に行くこともあり、フィールドで生き物と関わる貴重な経験ができました。

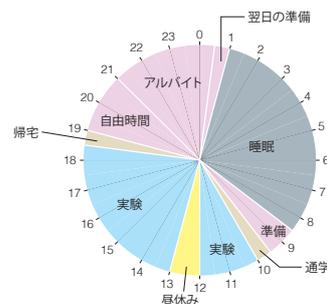
◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

海洋大の中で最も魚好きが多い学科だと思います。魚を見ること、食べること、釣ることのどれかが好きな人ばかりなので、魚の話をするだけで仲良くなれるはずですよ。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

実習では大学の練習船で1泊2日のクルージングをしたり、様々な海洋生物の解剖をすることができます。

Time Schedule



◆ 受験生に向けて、ひとこと

海や生き物に興味がある人は入学したら楽しい大学生活が待っていること間違いなしだと思います。

卒業生からのメッセージ

田中 美帆さん

2016(平成28年)年度 海洋科学部海洋生物資源学科卒業
千葉県 農林水産部 水産局 水産総合研究センター

千葉県の出先機関である水産総合研究センターで、アワビやイセエビ等の磯根資源の調査・研究業務に携わっています。

本学科に入学したきっかけは魚の生態について学びたいという漠然としたものでしたが、実習や4年次からの研究活動を通じて、研究職に興味を抱き、現在に至ります。本学で学んだ水産の基礎知識や、実験で習得したスキルは働く上で非常に役立っています。

また、水産関係機関でのインターンや水産学会等、専門的な分野を学ぶ機会が多いことは魅力の一つです。



在学生の声



神奈川県出身

CityMusic 部でのライブ

食品生産科学科 2 年（女子）
神奈川県立小田原高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

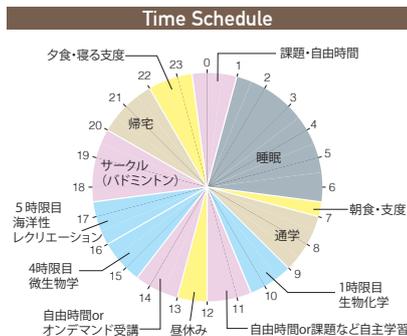
食品加工について学べる国立大学に行きたかったからです。食品生産科学科では一年次から食品加工に関する実験があり、高年次でも食品に関し様々な分野から学べる講義が多くあり素敵だと感じました。また必修科目として海洋生物や環境に関する授業があり、他大学で学べない内容を多く学ぶ貴重な体験ができます。

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

食べることが大好きな友人たちと、美味しい物を食べている時。また海洋生物や海洋環境などの講義では、食品の勉強をしながら普通の栄養系や食品系の学部では聞くことのできないお話を聞くことができ、海洋大に来てよかったなと感じます。

◆ 将来の夢、目標は？

食品科学の知識を活かして、忙しい人の健康を守れるような便利で美味しい製品を開発したいです。また、人と食事の時間を共有することの幸せを世界中に広めたいです。



神奈川県出身

スモーカーで燻製したニジマス

食品生産科学科 4 年（女子）
神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

食べることが好きなのに加え、祖父母が栽培していた緑茶に様々な機能性があることを知ってから、食品に関することを学びたいと思い、様々な視点から食品を総合的に学習できる海洋大に行きたいと思うようになりました。

◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

食品に関することを様々な視点から学ぶことができるうえに、学科特有の実験・実習があることだと思います。入門実験ではかまぼこ、マヨネーズなどを、実習ではニジマスの燻製を作ります。特に、実習では普段は目にすることができない燻製や真空包装の機械も見ることができ、貴重な経験になると思います。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

1年で行う実習では、ニジマスのつかみ取りから燻製して包装するまでの一連の流れを経験するのが楽しいところだと思います。ただ、単純な作業が多く、想像以上に時間がかかる一方で、安全に注意を払わなければいけないのが厳しいところだと思います。



卒業生からのメッセージ

西村 和也さん

2018（平成30）年度 海洋生命科学部食品生産科学科卒業
2020（令和2）年度 大学院海洋科学技術研究科食機能保全科学専攻修了
昭和産業株式会社 基盤技術研究所 分析科学研究室

本学での学びが楽しく、食に関わる研究をしたいと考え、多種多量の穀物と食品素材を扱う会社に就職しました。現在は、食品の香り成分の分析・研究業務に携わっています。

大学院では、食用油の劣化と微量成分の関係について、有機合成と分析機器を駆使して研究していました。本学では、専門的な講義や実験、実習を通じて、食品について化学、微生物学、工学、流通等の観点から多角的に学ぶことができます。6年間で得られた知識と経験は、社会人として働く私の糧となっています。食品科学の面白さを、皆様も体感してみませんか。



在学生の声

埼玉県
出身



カヤックで東京を運河から観察

海洋政策文化学科 2年 (男子)
獨協埼玉高等学校卒業

◆ どうして東京海洋大学を選んだの？

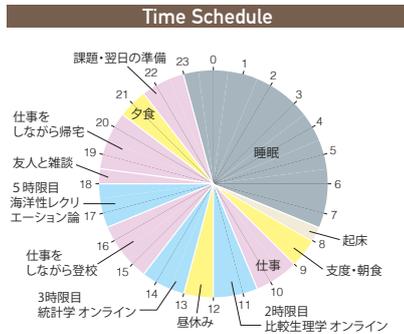
小さいころから海や魚が好きで、川や海で遊ぶ毎日を送っていました。小学生の時に東京海洋大学の存在を知り、いつか必ず入学しようと決めました。高校生になっても気持ちは変わらず、趣味の釣りやカヤック、受験生の時に始めた事業に没頭するあまり3年間受験に失敗してしまいましたが、この大学を志望し続け、入学しました。

◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

学ぶ分野と進路の自由度が高いという点です。興味の範囲を限定する事無く海に関して幅広い知識と視点を持ち、様々な要素を自分に取り入れる事で何かをしたいという方にはこれ以上ない学科であると思います。

◆ 将来の夢、目標は？

大学での学びや繋がりを利用して自分自身と起業した事業を成長させ、そこから得た様々な資源を用いて海や一次産業、アウトドア業界に関連する課題を解決し、社会に貢献する事です。



富山県
出身



地元富山湾の浜辺にて

海洋政策文化学科 4年 (男子)
富山県立富山中部高等学校卒業

◆ 入学してよかったと思ったのは、どんな時？

様々な海に関するアクションを起こす同級生と会う時です。話す度に自分にはない海の視点や問題意識に気付かされます。一緒に食べる魚は最高です。

◆ 学科の特徴、ユニークなところは？

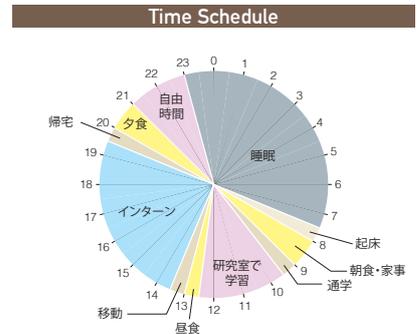
水産業やレジャー、教育など人々の営みという視点から海や魚の重要性を学べるところです。授業は討論やプレゼンが多く、自主的な学びが重視されます。

◆ 実習の楽しさ、厳しさは？

実際の漁村に足を運び生産の現場を直接見学したり、話を聞いたりすることができます。授業で得るグローバルな視点と、現場で得るローカルな視点の双方が求められます。

◆ 将来の夢、目標は？

豊かな海の恵みを持続的に活用する漁業者をサポートすると同時に、より多くの人々が海を身近に感じる社会づくりに挑戦したいと思っています。



卒業生からのメッセージ

奥田 万智さん

2016(平成28)年度 海洋科学部海洋政策文化学科卒業
2017(平成29)年度 水産専攻科修了
一般社団法人 日本海事検定協会

弊会千葉事業所の検査員として、千葉港の船舶・物流に関わる検査をしています。タンカーに乗船し貨物量を計算したり、貨物の損害状況を検査したり、幅広い業務があります。

学部時代はヨット部に所属し、マリンスポーツに取り組みました。専攻科では乗船実習を経験し、船舶の勉強をしました。

大学は、自分の学びたいことや知りたいことに集中して取り組むことができる貴重な時間です。学生生活を真剣に楽しむことで、卒業後は様々な道が開けると思います。

